



瑞穂の四季

発行：三木市高齢者大学大学院自治会
発行責任者：自治会会長 三木 清
編集委員：草間 透 中西富美
発行日：平成30年3月6日

自治会便り 第41号



第9期生の卒業にあたって



卒業生の皆様、おめでとうございます。

皆様が高齢者大学へ入学された年には、ロンドンオリンピックが開催されました、その年の漢字は「金」が選ばれました。

その後、「輪」・「税」・「安」・「金」・「北」と6年間の時代を反映した文字が選ばれて来ましたが、皆様はそれぞれの漢字にどのような思いをお持ちでしょうか。

「まなびの郷」の6年間は「光陰矢の如し」と言う言葉にふさわしい時間ではなかったでしょうか。

ご卒業後は色々な分野でご活躍されると思いますが、是非その中の一つに「地域活動」が含まれることを節に願うものであります。

高齢者大学・大学院での「ふれあい」が皆様にとっての「宝物」の一つになったであろうことを確信致しております。

「老いるとは、年齢ではなく向上心を無くしたときである」

学長 岩波孝昭

館外研修 神戸ゆかりの美術館を訪ねて



2月6日まなびの郷みずほを出発して約1時間後美術館に到着。神戸開港150年記念特別展「神戸港コレクション（よみがえった戦後風景）」を見学。その中に、川西 英画伯の新神戸百景の展示があり、私自身30過ぎまで神戸の生田区、灘区、垂水区で過ごしており昔を思い出す貴重な体験をしました。生田区のモダン寺、灘区の灘浜、垂水区舞子の移情閣（孫文記念館）、塩谷の浜などが描かれており感慨深かったと同時に40年以上前の思いが走馬灯の様に、頭の中を駆け巡りました。他にも摩耶ケーブル、森林植物園、六甲山ホテル、修法ケ原、メリケンパーク、等1952年から10年間位で描かれた作品が全部で100作品程展示されていました。その当時を生きてきた私にとって当時を思い出す、懐かしむ、帰る事が出来た貴重な経験、有意義な時間を過ごすことの出来た館外研修であった事を感謝しています。神戸に住んだ事の有る方、興味の有る方は、一度行ってみてください。 1年生 立石 勲



神戸ゆかりの美術館

白鶴酒造見学

卒業にあたり



まなびの郷みずほが有松寺の蛭雪学校として150年前にスタート。シンボルである2本の立派なかいづか・二宮尊徳の石像などこうも歴史を経た施設で学べたことを大いに誇りとするところです。

さて、教養講座では、自分の知識の幅とか奥行きを大いに広げてくれました。とりわけ年末の「揺らぐトランプ大統領と世界」については深い感銘をうけました。神大大学院法学研究科の蓑原先生という現役教授によるタイムリーで話題性豊かな内容でした。館外講座では、六甲山に生息する植物について手取るように教えていただいた窪田先生の講座・或いは當麻寺・安倍文殊院など仏教についていろいろ考えさせられた坂上関西国際大学教授の内容も自分の脳裏に深く刻み込まれています。親睦会では、1~2年生合同で福井方面に行き、曹洞宗大本山の永平寺を見学し、その折購入した道元禅師からのメッセージをいまなお座右の銘としています。やはり一番大きなインパクトは卒業旅行です。10月半ば2泊3日の予定で「富山県のトロッコ電車と黒部峡谷の旅」も大きな思い出です。天候も二日以降奇跡的ともいえる晴天にめぐまれたあのトロッコ電車の車窓からの渓谷美やスリル満点の体験、相倉合掌作りの風情、加賀藩前田利長公の菩提寺である瑞龍寺の荘厳なたたずまいそしてやはり温泉宿での宴会など残された人生の最終章を飾るイベントでもありました。

地域活動講座については「粟生線の良さを楽しむ会」に属し、メンバーと共に、実際に粟生線に乗り神鉄問題を考え、小さいサークルではあるが自ら行動を起こしていくことに意義を見出しました。部活活動については自治会の使命もあり、郷勉会・瑞唱会に属しました

最後になりましたが、役員会ならびに学生の皆様のご協力については感謝の一言です。事務局の方々にも感謝しつつ卒業させていただきます。ありがとうございました。

自治会会長 三木 清

地域活動発表会を終えて



2月22日、1年生1グループ2年生4グループによる29年度の地域活動発表会を行い、1年間の活動を終えました。私たちのグループは、「出前 癒し隊」の報告をします。

「高齢者の心の癒し支援と、ふれあいの場づくり」を活動のテーマとし、「介護施設や地域の高齢者の集いに出向き、積極的にふれあいの場を提供することによって、心の癒しの一助になりたい」との思いの活動です。三木市にも多くの介護施設が開設されていますが、オープン間のないところでは訪れるボランティアの数が少なく、「是非来てほしい」との強い要望をいただくなど、大変心待ちにされている施設が多くあることがわかりました。まだまだ、演技内容はお粗末な所もありますが、出前先の皆さんと一緒に歌ったり、笑ったりして楽しいひと時を過ごすことが一番の心の癒しに繋がるものと信じて頑張ってきました。

この活動は、私たちにとっても良い経験であり、一層のメンバーの絆を強くすることが出来ました。

2年生 岩波 勉

